

2021SDGsの取り組みPR

記入日：2021年2月21日

① タイトル	タブレットの取り扱いルールづくりから その先にある社会を考える
② 主な目標	
③ 目的・概要	<p>タブレットの利用とは、単なる情報機器の取り扱いだけではなく、そこで扱われる情報の取り扱いについて考える必要がある。 では、情報とは何か？ 大切にすべきことについて様々な角度から考える。</p>
④ 詳細	<p>【取組内容】 配布されたタブレット端末の取り扱いルールについて、ルールはなぜ必要なのか、どんなルールが必要なのかを、タブレットの使い方を低学年に教えたり、意見を整理したりしながら意味や関わり方を繰り返し考えてきました。 そこで、ほかの学校ではどうだろう？ タブレットをつくった人は、どんな考えでつくったのだろう？ とさらに視野を広げて考えることにしました。</p> <p>【業務目標】 6年3組では、12月13日（月）岐阜市立長良東小学校5年3組とオンライン会議を実施し、岐阜大附属小中学校で考えた意見を発表し、意見交換会を行いました。 さらに12月21日（火）、22日（水）、富士通㈱は各学校へ、対面での出張出前授業を実施しました。 ※富士通㈱では、GIGAスクールモデル 防滴防塵タブレット「ARROWS Tab Q5010/EEG」を全国多数の小中高等学校へ導入 教壇から一方通行に話をする授業形式ではなく、児童たちと同じ目線の高さで肩を並べ、会話を繋ぎながら対話形式で授業は進められました。児童たちは、慣れない授業形式と初対面の大人とのやり取りにピリピリと緊張感が教室内に漂っていました。最初はぎこちない反応の児童たちでしたが、緊張がほぐれてくると、友達の意見に大きくうなずいたり、補足したりと活発に会話しました。</p> <p>授業でタブレットを利用する機会も増え、スマートフォンを持つ小学生も増え、子どもたちは世界中の様々な情報を瞬時に収集することができるようになりました。子どもたちにとって、情報はとても身近になり、情報を発信することも容易になりました。 その情報は信じられる情報なのか？ 簡単に情報を鵜呑みにしてはいけません。 ICTとは「Information and Communication Technology」の略称。どんな時も「コミュニケーション」を大切にしながら、情報社会に生きる一員として、情報の取扱いを自分事として捉えていくことを学びました。</p> <p>【連絡先】 岐阜大学教育学部附属小中学校 058-271-3545/058-271-3507 教頭 西野</p> 
⑤ 関連URL	岐阜大学附属小中学校ホームページ https://www.fuzoku.gifu-u.ac.jp/
フリガナ	ギフダイガクキョウイクガクブゾクショウチュウガッコウ/フジツウギフシテン
会員名	岐阜大学教育学部附属小中学校 / 富士通㈱岐阜支店